

# 耳だより



会報 no 16

発行日 2020.08.18

発行者 新居浜市難聴者協会

792-0850 新居浜市荻生1620-83

新居浜市難聴者協会 会長 小川 洋一

TEL 090-7781-9938

残暑お見舞い申し上げます。一度落ち着きかけたコロナも全国的に増加しており、**夏の休まる日がないですね。高温注意報が出る中マスク着用推奨**の一方で**熱中症の心配もあり皆様におかれましても色々工夫**をされていることと思います。

この様な時期であり、9月6日開催予定をしておりました、**第2回難聴者サロン**は中止とさせていただきます。

11月8日の**第3回難聴者サロン**は、**集合してのサロンから「紙上サロン」**での検討をしております。次回「**耳だよりno17**」で詳細を連絡させていただきます。

## 【振り返り】

### 「出前講座 私たちのまわりの消費者トラブル」：「難聴者サロン」

日時 6月20日 10:00~12:00 開催場所 ふれあいプラザにて・・・設備：ヒヤリンググループ

出前講座の後には、身近に下記の新聞記事がでておりました。

7月20日-西条市内において、市役所を名乗る者から還付金詐欺目的の電話が架かっています。

電話の内容は、「還付金があるのでATMで手続きをしてください。」

- ・ 西条の女性2人が還付金詐欺被害 60代の無職の女性 被害額70万円
- ・ 60代の女性事務員 被害額50万円
- ・ 銀行員+市の職員と名乗り

## ■何か変だなと思ったら、消費生活センターへ助言や手助けを求めましょう。

場所：市役所2階南側 ☎ 65-1206

曜日：月曜日～金曜日（祝日を除く）

時間：8:30～17:00

## 第二部 難聴者サロン・難聴者カードについて

※ 和気あいあいと話が盛り上がり「なんでも相談会」となりました。

※ 同じグループで、初めての出会いで同じ校区だと

※ 自己紹介一分いやいや、時間が足りません短くても3分は

※ 手書きの要約筆記「ノートテイク」非常に助かりました。

・**カードが必要な方は、小川まで お声掛けください。**

## ◆今年度初めてのマスクしての集合写真で～す。

次回からはマスク無しがいいですね。

## ◆ 出前講座中



●新規会員さん紹介：千葉 輝明さん 藤原 聖士さん

●会員さんによる、受付の応援ありがとうございました。これからもよろしく願っています。



# コロナで更に難儀しています。



私たち、様々なところ



- 耳マークはあるものの!!  
社会的距離を取らなくては !!



- 医師、看護師の説明が解りづらい。
- 更に意思疎通支援者の同行も難しいしね!!

- 災害時に避難場所でも同じだね。  
※モニター等が欲しいね



※耳マークのあるところに

- ◆「ライブ・キャプション」会話の内容を数秒以内  
お越した画面があれば助かるね。

- ・難聴者サロンにおいでんか。
- ・「和気あいあい：お困りごと：お互い様：助け合い」  
日頃の思いを一緒にお話ししませんか。
- ・くらしに役立つ工夫や情報も共有しましょう。
- ・色々な方々に知ってもらい、  
人生・ワクワク楽しみましょう!



会員同士の親睦と情報交換を図ります。  
活動場所／障がい者福祉センター（庄内町）  
連絡先／新居浜市難聴者協会  
090-7781-9938（小川）

発行責任者 小川洋一

① 聴覚情報は様々な情動を引き起こします。

- ・ 楽しい
- ・ うれしい
- ・ かなしい
- ・ 怒り

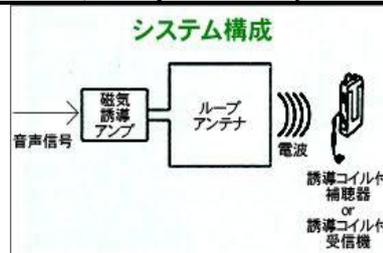


② ヒヤリンググループのご紹介

- ・ 難聴者、中途失聴者の聞こえを支援する設備です。  
(ふれあいプラザ 第一研修室に設置されている。)
- ・ 補聴器・人工内耳で支援を受けている方に対し、「T」に切り替えることにより、周りの環境音・雑音に煩わされずに、より目的の音・声のみを聞き取ることが出来る設備です。
- ・ 公の場所で大勢の人が集まるような処では特に有効です。

※補聴器の種類により利用できないものもあります。

※ 補聴器をされてなくて、高齢により難聴の方には専用の誘導コイル付き補聴器が準備されております



③ オチなあるお話

ろう夫婦がモーテルにチェックインした。深夜に妻が夫をお越し、頭痛がするので車の中にある薬を取ってきてほしいと頼んだ。夫は車に薬を取りに行き、モーテルに戻ろうとしたが、自分の部屋がどこだったか思い出せない。

少し考えた後、夫は車に戻りクラクションを押して待った。すぐにモーテルの明かりがしたが、一室だけは見つからなかった。もちろんそれが妻の部屋である。夫は車の鍵を閉めて、明かりがいない部屋に向かった。・・・「これは、ろう者の間で広く知られている昔からのジョークで、夫は聴者の音に対する敏感さを利用して部屋に戻れたというオチがある

